

機関紙 つながるかながわ

一般社団法人市民連帯経済つながるかながわ

住所: 横浜市中区南仲通4-39 石橋ビル4階 E-Mail: info@tsunagaru-kanagawa.org

TEL: 045-211-4667 FAX: 045-662-4306 開所時間: 9時30分~17時

参加団体 (8月末) ◆ 正会員 86団体 ◆ 賛助会員 13団体



◀ HP

◀ Instagram

◀ Facebook

Contents

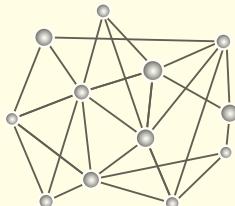
- ネットワークを活かす! まちづくり会議
- 探訪記番外編 さがみ まちづくり会議
- 新しいワーカーズ・コレクティブ紹介
「企業組合W.Co六角橋にんじん」
- つなかなおトク情報

つながるかながわでは「支援」「ネットワーク」「事業」の3つのセクションが連携して活動しています。今号では「ネットワーク」セクションを取りあげます。



ネットワークを活かす!

まちづくり会議



つながるかながわは、ワーカーズ・コレクティブや、その他の非営利市民事業者を支援する「ネットワーク型の中間支援組織」です。旧神奈川ワーカーズ・コレクティブ連合会と、NPO法人ワーカーズ・コレクティブ協会、生活クラブの3者が、それぞれの「違い」と「得意」を尊重しながら共同で運営し、専門性の高い他団体・組織の協力を得ながら会員団体の支援を行っています。

今回はつながるかながわの「ネットワーク」セクションを象徴する存在として、横浜北、横浜みなみ、かわさき、湘南、さがみの5つの地域エリア毎に隔月で開催される「まちづくり会議」を紹介します。

まちづくり会議の目的

たちあげる・つながる

当該エリアのまちづくりビジョン(構想)をもとにしたワーカーズ・コレクティブやアソシエーションの創出、市民事業の創出、連携の推進

運動する・調査する・提言する

- ・ローカルSDGsならびにFEC自給圏*づくりを中心とした運動の推進
- ・市民政策づくりの推進と市民政策提案活動の推進
- ・調査研究

助成する

「生活クラブまちづくり基金」への参加呼びかけ、助成公募、助成審査

*食料(Foods)、エネルギー(Energy)、ケア(Care=医療・介護・福祉)の3つを地域内で可能な限り自給し、循環させること。内橋克人氏(評論家、旧2012国際協同組合年全国実行委員会・委員長)が提唱。

まちづくり会議のメンバー構成

まちづくり会議は原則として生活クラブの地域生協理事長が招集し、事務局は生活クラブの地域生協専務とたすけあいコーディネーター*が担います。

* 生活クラブの地域生協内で「たすけあい」のネットワークづくりを進めるスタッフ

- 生活クラブの地域生協より3名
- 地域のワーカーズ・コレクティブより3名
- つながるかながわ理事会より2名以内
- まちづくり会議で承認された団体

地域ワーカーズ・コレクティブ連携会議より選出

第1回まちづくり会議の開催から、まもなく1年が経とうとしています。まちづくりのビジョンが地域毎に異なるように、まちづくり会議もそれぞれの地域性をもった会議として、今後の発展が期待されます。





まちづくり事務局長
田中入馬がいく

ワーカーズ・コレクティブ 探訪記 番外編

市民連帯経済つながるかながわ 『さがみ まちづくり会議』レポート

2025年8月28日(木)10時~12時
さがみ生活クラブ 相武台集会室

メンバー構成

さがみ生活クラブ

森 洋子 代表(さがみ理事長、つながるかながわ理事)
遠藤 亜紀(さがみ常務)
玉井 ふみ子(さがみ常務)

地域W.Co 連携会議

伊知地 るみ 副代表(つながるかながわ理事)
木野 久美(つながるかながわ理事)
服部 久美子(キャリー相模ブランチ理事)

会議で承認された団体くはたらっく

岡田 百合子(はたらっくスーパーバイザー)

会議で承認された団体くはたらっく・神奈川ネットワーク運動 県央ブロック地域連絡会

布瀬 恵(代表・大和市議) (オブザーバー)

長瀬 未紗(副代表・座間市議)

国兼 久子(神奈川ネットワーク運動・事務局長)



左から小比田さん、玉井さん、森さん、小林さん

市民連帯経済つながるかながわ

共同代表 木村 満里子

事務局 田中 入馬(オブザーバー) ※8/28のみ

事務局

小比田 康二(さがみ専務理事)

小林 洋子(地域たすけあいコーディネーター)

8月開催の「さがみ まちづくり会議」にオブザーバーとして参加し、招集者である森洋子さんと、事務局の小比田さん、たすけあいコーディネーターの小林さんにお話を聞きました。

Q さがみエリアのまちづくり会議の工夫と、やってみてよかつたことは何ですか。

森

地域のワーカーズや委託ワーカーズとの情報共有が増えました。

はたらっく・ざまのような経験豊富な実践者に参加してもらっていることで、行政とのつながりなどについて視点が広がりました。まちづくり会議主催で、まちづくり基金の推進にむけた上映会や説明会を開催できることは、共に地域をつくる実践の一つとして成果がありました。

Q 今後の展望についてお聞かせください。

森

これからは政策提案などにも取り組んでいきます。子育てや高齢者の問題は共通課題ですが、若者、特に引きこもりの人など、制度の狭間にいる人たちへの支援も重要です。例えば子どもの問題の背景にある親が抱える課題などについて、包括的に取り組む必要があると考えています。

地域で実際に様々な人達に接しているワーカーズの皆さんからの情報を共有して、課題解決に向けて考えていきたいと思います。



Q 事務局としてまちづくり会議では、どのようなことを重視していますか?

小比田

ワーカーズ・コレクティブとさがみ生活クラブ組合員が一緒になってまちづくりを行うことを重視しています。まちづくり会議のメンバーも、さがみ生活クラブの中期計画プロジェクトに参加してもらい、多様な意見を取り入れています。

また、ローカルSDGsやまちづくり基金を“一緒に”進めていくことも大切にしています。まちづくり会議のメンバーがまちづくり基金の説明会などにも積極的に参加しています。まちづくりビジョンを共有するための学習の一環として、映画の上映会やワークショップなども一緒に行っています。

さがみエリアのまちづくり会議は、基本構成メンバーに加え、就労支援事業を行なうはたらっく・ざまが正式なメンバーとして参加し、更にオブザーバーとして神奈川ネットも参加しているのが特徴です（8月は議会と重なり不参加）。地域ごとにまちづくり会議の参加メンバーは異なりますが、「生活」と「まちづくり」には食べ物や生活用品の消費、環境、福祉、就労（事業）、政治など多様な分野があり、それぞれが得意とする分野を持ち寄り共通するビジョンを目指すことで、地域に根付いた包括的なまちづくりが加速度的に進むことが、実際に会議に参加することで実感できました。

つながるかながわでは、年に4回程度、各地域のまちづくり会議事務局（生活クラブ・地域生協専務）と「まちづくり会議事務局調整会議」を開催しています。それぞれの地域のまちづくり会議のメンバー構成や議題などを共有し、地域性を保つつも、まちづくり会議を進化させるために議論を重ねています。

「ネットワーク型の中間支援組織」として、中核的な役割を持つまちづくり会議が、5年後、10年後にはどのように変容し、地域のまちづくりの役割を担っていくのか、今からとても楽しみです。

生活クラブまちづくり基金

生活クラブまちづくり基金は、地域で行われるまちづくりへの、生活クラブ組合員の参加の形です。

活動の趣旨に賛同する生活クラブ神奈川組合員からの寄付（毎月100円）で成り立っています。まだ参加していない組合員の方はぜひご参加ください。



詳しくはこちらから



つながるかなちゃん



新しいワーカーズ・コレクティブのご紹介

企業組合
ワーカーズ・コレクティブ

六角橋にんじん

新しい会員団体「六角橋にんじん」監事の
福田芳子さんにお話を伺いました。



監事の福田芳子さん

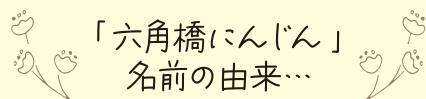
1985年に誕生した「人々」のランチとして35年間、この六角橋で仕出し弁当をはじめとした食の事業をしてきました。1995年からは(企)ミズ・キャロットのランチとしてやってきましたが、より地域に根差した事業として展開させていくため、独立を目指して3ヵ年計画を立てました。その計画の最終年である今年、「六角橋にんじん」として独立することになりました。

メンバーは7名で、みんな料理を作る
こと、人に「おいしい」と喜んでもらう

ことが大好きです。私もワーカーズ・コレクティブとしてみんなと一緒にやれるのであれば、ずっとやりたいと思いますし、それが天職だと思っています。六角橋にんじんの活動は、もう私の生活の一部になっています。



六角橋にんじん設立総会にて



「六角橋にんじん」 名前の由来…

屋号としては「にんじん」を設立当初から使っていて愛着があり、地域の人たちにも知られているため、「にんじん」という名前を残しました。

つながるかながわは 企業組合W.Co 六角橋にんじんの チャレンジをともにすすめます

「将来的には2店舗目を目指したい」という意気込みを福田さんは語ってくれました。つながるかながわのネットワークを活かし、六角橋にんじんの新たなチャレンジを応援していきます。

つながるかながわ情報

顧問社会保険労務士のご紹介

おおさわ ともこ
大沢 知子さん (大沢事務所)



つながるかながわでは、弁護士、社労士、税理士と顧問契約を交わしています。

今回ご紹介するのは、特定社会保険労務士の大沢知子先生。会員団体の初回相談は無料(1時間程度)となっています。これまで、多くのワーカーズ・コレクティブなど非営利市民事業から相談を受けてこられた大沢先生にお話を伺いました。

Q W.Coからは、これまでにどのような相談を受けましたか?

A 就業規則についてや、労働条件の契約書の内容、社会保険の扶養の範囲についても130万円のラインが緩和されたことで相談が増えました。国の制度事業を行なうW.Coからの相談が多かったように思います。

Q 「こんな相談も受けられます」という例はありますか?

A 労災対応などについても相談が受けられます。W.Coとしての理念と、働く人の労働者としての意識との違いに悩んだことがある方も多いと思いますが、大きなトラブルになる前に、整備すべきものは整備していく必要があります。「どこから手を付けていいかわからない!」という相談も受け付けていますので、ぜひご相談ください。

相談の依頼は…

つながるかながわWebサイト > 会員専用ページより
「相談依頼書」をダウンロード ※ログインパスワードは事務局までお問い合わせください

編集
後記

国連はさまざまな分野で持続可能なSDGsに貢献している協同組合を評価し、その認知の向上と協同組合の振興のために、2025年を国際協同組合年としました。未来を描くために、競争ばかりでない、協同が根付く社会・経済が見直されています。(田中入馬)